

2 級 造 園 施 工 管 理 技 術 検 定

第 一 次 検 定 (前 期) 試 験 問 題

つぎ ちゅう い 注意をよく読んでから解答してください。

[注 意]

- これは第一次検定の試験問題です。表紙とも10枚、40問題あります。
- 解答用紙(マークシート)には、試験地、氏名、フリガナ、受検番号を間違いのないように記入するとともに受検番号の数字をぬりつぶしてください。
- 問題は全て必須ですから、40問題全部を解答してください。
このうち、問題37～40までの4問題は、施工管理法(基礎的な能力)の問題です。
- 試験問題の漢字のふりがなは、問題文の内容に影響を与えないものとします。
- 解答は、解答用紙(マークシート)にHBの鉛筆又はシャープペンシルで記入してください。
(万年筆、ボールペンの使用は不可)

問題番号	解答記入欄			
問題 1	①	②	③	④
問題 2	①	②	③	④
問題 10	①	②	③	④

かいとうよう し
解答用紙は

となっていますから、

とうがいもんだいばんごう かいとう きにゅうらん せいかい おも するじ
当該問題番号の解答記入欄の正解と思う数字をぬりつぶしてください。

かいとう のぬりつぶし方は、かいとうよう し かいとう きにゅうれい (ぬりつぶし方)を参照してください。

もんだい 問題1～36については正解は一つしかないので、二つ以上ぬりつぶすと得点になりません。

もんだい 問題37～40については正解を全てぬりつぶしてください。せいかいの するじ すべて正解の数字を全てぬりつぶしてないものや、正解でない数字までぬりつぶしてあるものは得点になりません。

- 解答を訂正する場合は、プラスチック消しゴムできれいに消してから訂正してください。
け 消し方が不十分な場合には、ただ 正しく解答したこととなりません。
- この問題用紙の余白は、計算等に使用してもさしつかえありません。
ただし、かいとうよう し けいさんとう しよう 解答用紙は計算等に使用しないでください。
- かいとうよう し 解答用紙(マークシート)を必ず試験監督者に提出後、たいしつ 退室してください。
かいとうよう し 解答用紙(マークシート)は、いかなる場合でも持ち帰りはできません。
- しけんもんだい 試験問題は、しけんしゅうりょう じこく (12時40分)まで在席した方のうち、きぼうしゃ 希望者に限り持ち帰りを
みと 認めます。とちゅうたいしつ 途中で退室した場合には、もちかえ 持ち帰りはできません。

※ 問題 1 ~ 36 については正解番号を一つぬりつぶしてください。

〔問題 1〕 日本庭園に関する次の記述の (A)、(B) に当てはまる語句の組合せとして、**適切なものはどれか。**

桂離宮庭園や六義園は、(A) に発達した庭園様式である (B) の代表的なものである。

(A) (B)

- | | | | |
|-----|------|----|---------|
| (1) | 室町時代 | —— | 池泉回遊式庭園 |
| (2) | 室町時代 | —— | 枯山水式庭園 |
| (3) | 江戸時代 | —— | 池泉回遊式庭園 |
| (4) | 江戸時代 | —— | 枯山水式庭園 |

〔問題 2〕 土壌に関する記述のうち、**適当でないものはどれか。**

- (1) 団粒構造が発達した土壌では、透水性は良好だが、保水性が低くなる。
- (2) 腐植は、土壌の団粒構造の形成を促進する。
- (3) 土壌中の水分のうち、植物に容易に吸収されるのは、毛管水である。
- (4) 土壌中の有機物は、土壌微生物によって分解され、植物が利用可能な無機物に変化する。

〔問題 3〕 土壌 pH に関する次の (イ)、(ロ) の記述について、**正誤の組合せとして、適切なものはどれか。**

- (イ) 土壌 pH は、弱アルカリ性が植物の生育に適している。
- (ロ) 酸性の強い土壌に対しては、一般に炭酸カルシウムなどを混合して pH を改良する。

(イ) (ロ)

- | | | | |
|-----|---|----|---|
| (1) | 正 | —— | 正 |
| (2) | 正 | —— | 誤 |
| (3) | 誤 | —— | 正 |
| (4) | 誤 | —— | 誤 |

〔問題〕 4) 植物に必要な肥料に関する次の記述の(A)、(B)に当てはまる語句の組合せとして、
適切なものはどれか。

(A)は、一般に根肥ともいわれ、欠乏すると水分欠乏に似た症状を呈し、下葉から黄化し枯れることがある。

(B)は、一般に実肥ともいわれ、欠乏すると葉は暗緑色となり、花芽分化や開花、結実が悪くなる。

(A) (B)

- (1) 窒素質肥料 —— リン酸質肥料
- (2) 窒素質肥料 —— カリ質肥料
- (3) カリ質肥料 —— リン酸質肥料
- (4) カリ質肥料 —— 窒素質肥料

〔問題〕 5) 植物に対して次の記述の被害をもたらす害虫として、適切なものはどれか。

幼虫は樹木の中にいて樹皮下や材部を食害し、成虫は新梢部の樹皮を食害する。
食害された樹木は樹勢が衰え枯死することがある。

- (1) アブラムシ類
- (2) カミキリムシ類
- (3) ドクガ類
- (4) ハダニ類

〔問題〕 6) 造園樹木に関する記述のうち、適当でないものはどれか。

- (1) イチイ、イヌツゲは、生長が遅い。
- (2) イヌマキ、ヤマモモは、萌芽力が強い。
- (3) ウバメガシ、クロマツは、耐潮性がある。
- (4) アカマツ、ユリノキは、耐陰性がある。

〔問題 7〕 ^{かだん}花壇に用いられる^{もち}春播き^{はるま}一年草^{いちねんそう}として、^{しゅ}2種^{がいとう}とも該当するものはどれか。

- (1) ダリア，フリージア
- (2) ストック，ハナナ
- (3) サルビア，ジニア
- (4) マーガレット，シバザクラ

〔問題 8〕 ^{にほんしば}日本芝と^{せいようしば}西洋芝の^{いっばんてき}一般的な^{せいしつ}性質に関する^{かん}記述のうち、^{きじゅつ}適切な^{てきとう}ものはどれか。

- (1) ^{にほんしば}日本芝は^{せいようしば}西洋芝に^{くら}比べ、^{ひかげ}日陰に^{よわ}弱い^{おお}ものが多い。
- (2) ^{にほんしば}日本芝は^{せいようしば}西洋芝に^{くら}比べ、^{こうおん}高温^{たしつ}多湿にも^{びょうがい}病害にも^{よわ}弱い^{おお}ものが多い。
- (3) ^{にほんしば}日本芝は^{せいようしば}西洋芝に^{くら}比べ、^{とうあつ}踏圧に^た耐える^{ちから}力が^{よわ}弱い^{おお}ものが多い。
- (4) ^{にほんしば}日本芝は^{しゅ}種子^{はんしよく}繁殖、^{せいようしば}西洋芝は^{えいようはんしよく}栄養繁殖する^{いっばんてき}ものが一般的である。

〔問題 9〕 ^{れんが}れんがに関する^{かん}次の^{つぎ}記述のうち、(A)、(B)に^あ当てはまる^{こく}語句の^{くみあわ}組合せとして、^{てきとう}適切なものはどれか。

^や焼き^す過ぎれんがは、^{ふつう}普通れんがの^{しょうせいおん}焼成温度よりも^{こうおん}高温で^や焼き、^{あかぐろ}いぶしたような赤黒い^{いろ}色が^{とくちょうてき}特徴的である。また、^{ふつう}普通れんがよりも^{きやうど}強度が(A)^{きゅうすいりつ}吸水率は(B)。

- | | |
|--|-----|
| (A) | (B) |
| (1) ^{おお} 大きく ——— ^{たか} 高い | |
| (2) ^{おお} 大きく ——— ^{ひく} 低い | |
| (3) ^{ちい} 小さく ——— ^{たか} 高い | |
| (4) ^{ちい} 小さく ——— ^{ひく} 低い | |

〔問題 10〕 ^{ぞうえんじゅもく}造園樹木の^{ねまわ}根回しに関する^{かん}記述のうち、^{きじゅつ}適当でない^{てきとう}ものはどれか。

- (1) ^{ねまわ}根回しは、^{いっばん}一般に^{じゅもく}樹木の^{せいちやう}生長が^と止まる^{あき}秋から^{ふゆ}冬にかけて^{おこな}行うのがよい。
- (2) ^{ねまわ}根回しを行う^{おこな}根鉢の^{ねぼち}直径は、^{ちよつけい}一般に^{いっばん}根元^{ねもと}直径の^{ちよつけい}3～5倍^{ばいていど}程度とするのがよい。
- (3) ^{みぞほ}溝掘り式の^{しき}根回しでは、^{ねまわ}支持根に^{しじこん}環状はく皮^{かんじやう}を行う^ひことで、^{おこな}はく皮部の^{ねもと}根元側から^{はっこん}発根が^{そくしん}促進される。
- (4) ^{じゅもく}樹木の^{とうふく}倒伏や^ゆ揺れによる^{しんこん}新根の^{せつだん}切断がないよう、^{しちゆう}支柱を取り^と付ける。

〔問題 11〕 造園樹木の支柱に関する記述のうち、**適当でないものはどれか。**

- (1) ワイヤ張り支柱は、樹高が高く、八ツ掛支柱では効果を発揮しない場合などに、ワイヤロープ数本で樹木を支える。
- (2) 唐竹を用いた布掛支柱の取付けでは、竹と竹の結束部は、のこぎり目を入れて鉄線で結束する。
- (3) 地下支柱は、根鉢周辺に支持アンカーを十分に打ち込み、ワイヤロープ等を用いて根鉢を地下で固定する。
- (4) 二脚鳥居型支柱は、丸太又は竹を幹に添えて地中に差し込み、幹と結束して支える。

〔問題 12〕 造園樹木の剪定に関する記述のうち、**適当でないものはどれか。**

- (1) 樹木に対する強剪定は、樹木全体の生育が抑えられるため、徒長枝などの発生抑制に有効である。
- (2) 枝おろし剪定は、幹から少し離れた場所で枝に下から鋸を入れた後、上から切り落とし、幹の付け根の膨らみ（ブランチカラー）を残して切り直すのがよい。
- (3) 落葉樹について、樹枝の骨格をつくるための基本剪定は、冬期に行うのがよい。
- (4) 生垣を刈り込む場合、裾の美しい線を保つには、上枝を強く、下枝を弱く刈り込むようにするのがよい。

〔問題 13〕 芝生の造成に関する記述のうち、**適当でないものはどれか。**

- (1) 床土の地表面は、傾斜をつけないよう平坦にして、ローラーで軽く転圧した。
- (2) 播種法において、播種後に床土の地表面が乾かないよう、じょうろで静かに灌水した。
- (3) 播種法において、発芽後1ヶ月くらいで草丈が5～6cmになったので、3cm程度の高さにか刈り込んだ。
- (4) 張芝法において、切芝を張り付けた後、レーキで目土が目地や葉の間によく入るように仕上げた。

〔問題 14〕 アスファルト舗装に関する記述のうち、**適当なもの**はどれか。

- (1) 路盤とその上に施工するアスファルト混合物とのなじみを良くするため、プライムコートを散布した。
- (2) アスファルト混合物の締固めを、初転圧→二次転圧→継目転圧→仕上げ転圧の順序で行った。
- (3) 加熱アスファルト混合物の二次転圧の際、50～60℃を下回らないようにした。
- (4) アスファルト混合物の敷ならし作業中に雨が降り始めたため、敷きならした混合物にシートをかけ、そのまま作業を中止した。

〔問題 15〕 運動施設の舗装の性質に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) アンツーカー舗装は、石灰石、火山砂利などを粉砕したときに生じる砕石粉を用いるもので、降雨後の乾燥は早い。
- (2) クレイ舗装は、赤土、荒木田土、まさ土などを単一又は混合して用いるもので、施工が比較的容易である。
- (3) 樹脂系舗装は、ポリウレタン系、合成ゴム系などの合成材料を用いるもので、天候にほとんど影響されずに使用可能である。
- (4) アスファルト系舗装は、アスファルトを主材料に用いるもので、耐久性に富み、樹脂系舗装に比べ補修はしやすい。

〔問題 16〕 遊具の設置に関する次の記述の (A)、(B) に当てはまる数値の組合せとして、**適当なもの**はどれか。

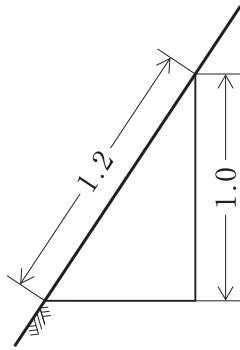
児童用の滑り台を設置するにあたり、滑降面の有効幅を (A) mm とし、着地面から減速部の終端上端部までの高さを (B) mm とした。

(A) (B)

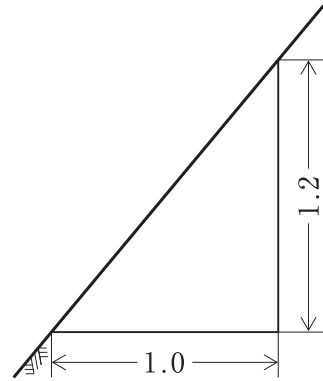
- (1) 300 — 250
- (2) 300 — 400
- (3) 450 — 250
- (4) 450 — 400

〔問題 17〕 のりめん勾配 1 : 1.2 を示した図として、正しいものはどれか。

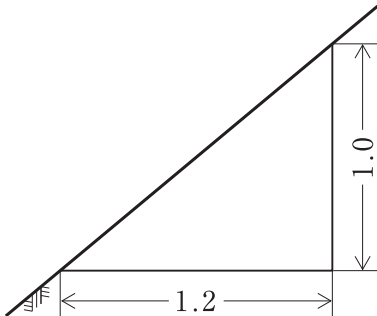
(1)



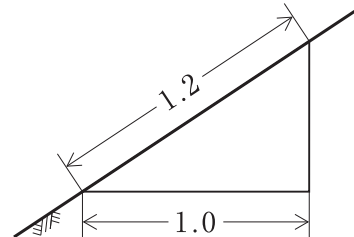
(2)



(3)



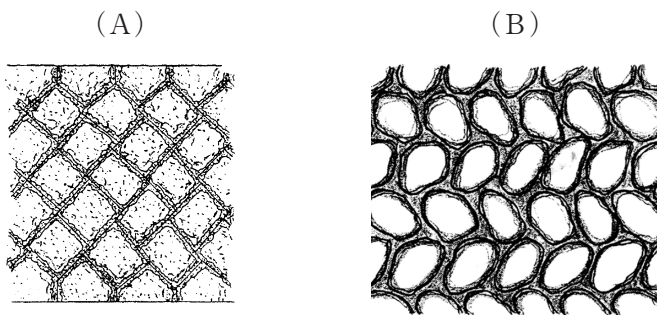
(4)



〔問題 18〕 コンクリートに関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) モルタルとは、セメント、水、細骨材及び必要に応じて加える混和材料を練り混ぜたものである。
- (2) コンシステンシーとは、主として水量の多少によって左右されるフレッシュコンクリートの変形又は流動に対する抵抗性のことである。
- (3) コンクリートの設計基準強度は、一般に材齢 28 日における圧縮強度を基準とする。
- (4) コンクリートの引張強度は、圧縮強度の 1.5 ~ 2 倍程度であり、一般に曲げ強度より大きい。

〔問題 19〕 ^{もんだい} 下図に示す^{か ず しめ ざつわりいしづ}雑割石積み (A)、^{たまいしづ}玉石積み (B) について、^{いしづ つ かた めいしやう くみあわ}石積みの積み方の名称の組合せとして、^{てきとう}適当なものはどれか。


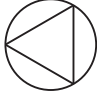




- | | |
|------------------------|-------------------------|
| (A) | (B) |
| (1) ^{ぬのづ} 布積み | —— ^{やばねづ} 矢羽積み |
| (2) ^{ぬのづ} 布積み | —— ^{こぐちづ} 小口積み |
| (3) ^{たにづ} 谷積み | —— ^{やばねづ} 矢羽積み |
| (4) ^{たにづ} 谷積み | —— ^{こぐちづ} 小口積み |

〔問題 20〕 ^{もんだい} 屋根の「^{や ね けいじやう}形状」とその「^{めいしやう くみあわ}名称」の組合せとして、^{てきとう}適当でないものはどれか。

- | | | | | | |
|-----|-----------------------|-----------------------------|-----|-----------------------|-----------------------------|
| (1) | ^{けいじやう} (形状) | ^{めいしやう} (名称) | (2) | ^{けいじやう} (形状) | ^{めいしやう} (名称) |
| | | —— ^{きりづまや ね} 切妻屋根 | | | —— ^{よせむね や ね} 寄棟屋根 |
| (3) | ^{けいじやう} (形状) | ^{めいしやう} (名称) | (4) | ^{けいじやう} (形状) | ^{めいしやう} (名称) |
| | | —— ^{いりも や ね} 入母屋屋根 | | | —— ^{こし や ね} 越屋根 |

〔問題 21〕 電気設備設計図に用いられる一般的な「記号」とその「名称」の組合せとして、
 適当でないものはどれか。

- | | (記号) | (名称) |
|-----|---|-----------|
| (1) |  | 警報灯 (回転灯) |
| (2) |  | 電柱 |
| (3) |  | 屋外灯 |
| (4) |  | 受電点 |

〔問題 22〕 給水工事に関する次の記述の (A) に当てはまる数値として、
 適当なものはどれか。

給水管を他の埋設管と近接して布設する際、維持補修作業や漏水による加害事故
 発生防止のため、確保しなければならない最小離隔は (A) cm である。

- (1) 30
- (2) 45
- (3) 60
- (4) 75

〔問題 23〕 「公共工事標準請負契約約款」に定める設計図書として、
 2つとも該当するものは
 どれか。

- (1) 仕様書, 現場説明書
- (2) 仕様書, 請負代金内訳書
- (3) 実施工程表, 現場説明書
- (4) 実施工程表, 請負代金内訳書

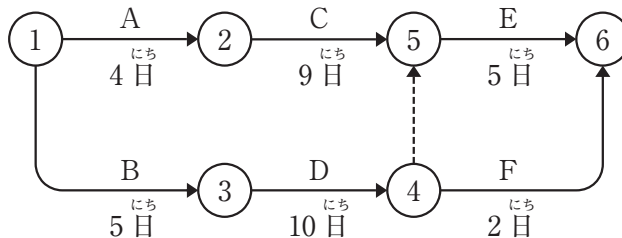
〔問題 24〕 施工計画に関する記述のうち、**適当なもの**はどれか。

- (1) 労務計画には、作業員の安全管理活動についての計画が含まれる。
- (2) 機械計画には、工事車両による沿道障害の防止対策についての計画が含まれる。
- (3) 資材計画には、調達した資材の保管についての計画が含まれる。
- (4) 出来形管理計画には、建設副産物の発生抑制方法についての計画が含まれる。

〔問題 25〕 「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）」に規定する特定建設資材廃棄物に、**該当するもの**はどれか。

- (1) 雨水排水管の撤去に伴い生じた廃プラスチック
- (2) 園路の造成に伴い生じた建設発生土
- (3) 掲示板の撤去に伴い生じたガラスくず
- (4) 駐車場の再整備に伴い生じたアスファルト・コンクリート塊

〔問題 26〕 下図に示すネットワーク式工程表で表される工事において、Dの作業日数を短縮して7日にした場合、全体工期は何日短縮されるか。
ただし、図中のイベント間のA～Fは作業内容を、日数は作業日数を表す。



- (1) 0日
- (2) 1日
- (3) 2日
- (4) 3日

〔問題 27〕 経済的な工程計画を作成する場合の一般的な留意事項に関する記述のうち、**適当なもの**はどれか。

- (1) 全工期を通じて、作業員の必要数を均し、過度の集中が発生しないよう計画すること。
- (2) 仮設資材や工具はできるだけ多く現場に持ち込み、反復使用を避けるよう計画すること。
- (3) 手持ち資材や施工用機械などの確保状況に関わらず、発注者が設定した工期を最適工期とするよう計画すること。
- (4) 施工の段取り待ちや材料待ちの時間をできるだけ確保するよう計画すること。

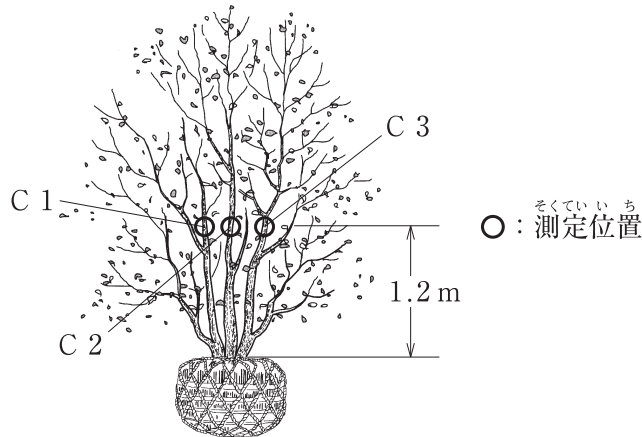
〔問題 28〕 下表の(イ)～(ハ)は「工種」、「品質特性」、「試験方法」の組合せを示したものである。表の(A)～(C)に当てはまる語句の組合せとして、**適当なもの**はどれか。

	工種	品質特性	試験方法
(イ)	(A)	最大乾燥密度・最適含水比	締め固め試験
(ロ)	土工	(B)	平板載荷試験
(ハ)	コンクリート工	粒度(細骨材・粗骨材)	(C)

- | | (A) | (B) | (C) |
|---------------|-----|-------|---------|
| (1) 路盤工 | 支持力 | 締め固め度 | ふるい分け試験 |
| (2) 路盤工 | 支持力 | 締め固め度 | 空気量試験 |
| (3) アスファルト舗装工 | 支持力 | 締め固め度 | 空気量試験 |
| (4) アスファルト舗装工 | 支持力 | 締め固め度 | ふるい分け試験 |

〔問題 29〕 下図に示す3本立以上と指定された樹木の幹周の寸法として、「公共用緑化樹木等品質寸法規格基準(案)」に照らし、正しいものはどれか。
ただし、樹高は指定の寸法値を満たしているものとする。

C 1 : 0.10 m C 2 : 0.15 m C 3 : 0.15 m



- (1) 0.13 m
- (2) 0.15 m
- (3) 0.28 m
- (4) 0.30 m

〔問題 30〕 建設工事の事故発生時に適切な初動措置を行うために、一般的に作業現場で講じておくべき措置に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) 関係機関との通報方法の相互確認などの体制を平素から明確にしておくこと。
- (2) 応急手当や救急方法などの安全訓練を実施しておくこと。
- (3) 緊急連絡表を作成し、関係連絡先、担当者及び電話番号を記入して、事務所や詰所などの見やすい場所に標示しておくこと。
- (4) 産業医を選任し、労働者の健康管理を行わせること。

〔問題 31〕 高所作業車を用いた高木剪定作業に関する記述のうち、「労働安全衛生法」上、誤っているものはどれか。

- (1) 高所作業車の転倒などによる労働者の危険を防止するため、アウトリガーを張り出した。
- (2) 作業床の高さが10m以上の高所作業車の運転を行う際に、高所作業車運転技能講習を修了した者を就かせた。
- (3) 高所作業車の作業床以外の箇所で作業床を操作するに当たって、作業床上の労働者とその連絡を確実にするため、一定の合図を定め、合図を行う者を指名して、その者に合図を行わせた。
- (4) 高所作業車を2ヶ月にわたり継続して使用する作業に当たって、1週間に1回の頻度で、制動装置、操作装置及び作業装置の機能について点検を行った。

〔問題 32〕 建設機械による施工に関する記述のうち、「労働安全衛生規則」上、誤っているものはどれか。

- (1) 運転中の掘削機械と接触のおそれのある箇所で労働者を作業させるときには、機械の運転者と作業員の間で常に連絡を取ることができるようにした。
- (2) 掘削面の高さが2m以上となる地山の掘削作業を行うに当たり、地山の掘削作業主任者に作業の方法の決定及び作業の直接指揮を行わせた。
- (3) 明かり掘削の作業を行う場合において、地山の崩壊により労働者に危険をおよぼすおそれがあったので、あらかじめ土止め支保工を設け、防護網を張り、労働者の立入りを禁止した。
- (4) バックホウの運転者が運転席から離れる際、バケットを地上に下ろし、原動機を止め、走行ブレーキをかけた。

〔問題 33〕 「都市公園法」上、公園施設として都市公園に設けることができないものはどれか。

- (1) 魚釣場
- (2) 植物園
- (3) リハビリテーション用運動施設
- (4) 警察署の派出所

〔問題 34〕 建設工事の工事現場に置かれる主任技術者の職務として、「建設業法」に規定されているものはどれか。

- (1) 当該建設工事の下請契約を締結すること。
- (2) 当該建設工事の工事見積書を作成すること。
- (3) 当該建設工事の工程管理を行うこと。
- (4) 当該建設工事の請負代金額の変更を行うこと。

〔問題 35〕 「労働基準法」に関する記述のうち、誤っているものはどれか。

- (1) 使用者は、臨時の賃金等を除き、毎月1回以上、一定の期日を定めて、賃金を支払わなければならない。
- (2) 使用者は、児童が満15歳に達した日以後は、建設業でこれを使用することができる。
- (3) 使用者は、妊産婦が請求した場合には、深夜業をさせてはならない。
- (4) 使用者は、一定の条件を満たす労働組合との協定により、時間を単位として有給休暇をあたえることができる。

〔問題 36〕 「労働安全衛生法」上、事業者が作業主任者を選任する必要のある作業はどれか。

- (1) 高さが5mの樹木の伐採
- (2) 高さが2mとなる土石の堆積
- (3) 掘削面の高さが1.5mとなる地山の掘削
- (4) 建築物の鉄骨で高さが5mのものの組立て

※ 問題 37 ~ 40 については正解番号を全てぬりつぶしてください。

次に示す〔工事数量表〕及び〔工事に係る条件〕に基づく造園工事に関して、以下の問題 37 ~ 40 について答えなさい。

〔工事数量表〕

工種	種別	細別	規格			単位	数量	備考
植栽工	高木植栽工	コナラ	H(m)	C(m)	W(m)	ほん本	15	
			3.0	0.15	1.2			
	地被類植栽工	ノシバ	36 cm × 28 cm × 10 枚			m ²	1,800	めじばり
移植工	高木移植工	ケヤキ	H(m)	C(m)	W(m)	ほん本	8	支柱取り付け
			6.0	0.40	2.5			
樹木育成工	樹勢回復工	オオシマザクラ	H(m)	C(m)	W(m)	ほん本	10	
			7.0	0.45	4.0			
樹木整姿工	高中木整姿工	クスノキ	H(m)	C(m)	W(m)	ほん本	12	
			11.0	1.40	5.0			
公園施設等撤去・移設工	公園施設撤去工	公園施設撤去	プラスチック製複合遊具			き基	1	
			木製ベンチ			き基	4	
園路広場整備工	アスファルト系舗装工	公園アスファルト舗装	—			m ²	90	

〔工事に係る条件〕

- 本工事は供用中の地区公園内の再整備工事であり、上記の工事数量表に基づき施工するものである。
- 樹勢回復工は、オオシマザクラの樹勢回復と病虫害防除のため、殺虫剤を葉面散布するとともに、施肥を行う。
- 高中木整姿工は、既存樹木のクスノキの剪定を行う。
- 公園施設撤去工は、芝生広場内のプラスチック製複合遊具及び木製ベンチを撤去する。
- アスファルト系舗装工は既存園路のコンクリート舗装をアスファルト舗装に改修する。
- 工期は9月10日から翌年の3月10日までである。

〔問題 37〕 ケヤキの移植工において、丸太を使用してハツ掛支柱を取り付けた。この支柱取付けに関する記述として、**適当なものを全て**選びなさい。

- (1) 支柱を地際で安定させるため留杭（やらず杭）は丸太を用い、支柱との交差部は釘打ちのうえ鉄線掛けとした。
- (2) 2本の丸太を用意し、2方向から斜めに木を支える形で取り付けた。
- (3) 支柱は、それぞれ幹または他の支柱（丸太）と交差する部位の2箇所^{みき た しちゆう まるた こうさ ぶい かしょ けっそく}で結束した。
- (4) 移植後の養生のための一時的な支柱であるため、支柱の丸太は他の工事^{いしょくご ようじよう いちじでき しちゆう しちゆう まるた た こうじ}で出た防腐処理のされていない木材をそのまま利用した。

〔問題 38〕 本工事における施肥について、**適当なものを全て**選びなさい。

- (1) 植栽時に、樹木の生長に必要とされる養分^{しよくさいじ じゅもく せいちよう ひつよう ようぶん あた}を与えるため、遅効性肥料^{ちこうせい ひりよう ほどこ}を施した。
- (2) 植栽時に、根の活着に不安があったため、肥料^{しよくさいじ ね かっちやく ふあん ひりよう ね ちよくせつふ ほどこ}を根に直接接触するように施した。
- (3) 植栽時に、酸性土壌であったため、土壌をアルカリ性にする働きのある硫酸^{しよくさいじ さんせい どじよう どじよう アルカリ性 せいはたら りゅうあん ほどこ}を施した。
- (4) 樹勢回復工において、施肥は枝張り先端の真下^{じゅせいかいふくこう せひ えだぼ せんたん ました めやす おこな}を目安に行った。

〔問題 39〕 本工事において発生した次の建設副産物のうち、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」^{はいきぶつ しょりおよ せいそう かん ほうりつ}に規定する産業廃棄物^{きてい さんぎょうはいきぶつ}に該当するものを**全て**選びなさい。

- (1) 舗装の改修により発生したコンクリート破片^{ほそう かいしゅう はっせい はへん}
- (2) 遊具の解体により発生した廃プラスチック類^{ゆうぐ かいたい はっせい はい るい}
- (3) ベンチの解体により発生した木くず^{かいたい はっせい き}
- (4) クスノキの剪定に伴い発生した枝葉^{せんてい ともな はっせい しよう}

〔問題 40〕 ^{ほんこうじ} ^{しやう} ^{げんば} ^{はんにゆう} ^{しよくぶつざいりやう} ^{こうきやうよりよくかじゆもくとう}
本工事で使用するため現場に搬入された植物材料について、「公共用緑化樹木等
^{ひんしつすんぽうきかくきじゆんあん} ^{もと} ^{ひんしつきかく} ^{はんてい} ^{けっか} ^{てきとう} ^{ひと}
品質寸法規格基準(案)」に基づき品質規格を判定した結果として、**適当なものを一つ**
^{えら}
選びなさい。

- (1) コナラについて、^{けむし} ^{しよくがい} ^{はっせい} ^{あと} ^{ひがい}
毛虫などによる食害の発生した跡があったが、被害がわずかであると
^{どうじ} ^{がいちゆう} ^{こうかく}
同時に害虫がいなかったため、合格とした。
- (2) コナラについて、^{とちやうし} ^{のこ} ^{こそんし} ^{てきせつ} ^{しより} ^{こうかく}
徒長枝が残っていたが、枯損枝は適切に処理されていたため、合格とした。
- (3) ノシバについて、^{かんそう} ^{つち} ^ね ^{へいきん} ^は ^{こうかく}
乾燥し土くずれしていたが、根は平均に張っていたため、合格とした。
- (4) ノシバについて、^{ざっそう} ^{こんにゆう} ^{せいじやう} ^{やうけい} ^{やうしよく} ^{たも} ^い ^い ^{こうかく}
雑草が混入していたが、正常な葉形、葉色を保ち、生き生きとしていた
ため、合格とした。